

図書館だより 4号



7月

令和6年7月19日
第一日暮里小学校
校長 猪瀬 賢一
学校図書館プロジェクト



ことし なつやす しら がくしゅう ちょうせん
今年の夏休みも「調べる学習」に挑戦しましょう!



なつやす ことし がっこうとしょかん つか しら がくしゅう と く
いよいよ夏休みがスタートします。今年も「学校図書館を使った調べる学習」に取り組みましょう。

どようこうかいび ねんせい おやこ しら がくしゅう おこな みぢか い もの
7月13日の土曜公開日には、1年生の「親子で調べる学習」が行われました。身近な生き物から
きょうみ ほん か がようし
興味をもったことをテーマにし、本から「わかったこと」を書きぬき、画用紙にまとめることができました。

なつやす ちゅう ごぜんちゅう かいかん がっこうとしょかん かつよう
夏休み中も、午前中は開館していますので、学校図書館を活用してください。

かいかんび らいかんじ しょくいんしつ こえ
(開館日は、土日以外の7/22~31、8/22~8/29です。来館時には、職員室に声をかけて
ください。) ※過去の荒川区受賞作品は、個人面談の期間中、学年のフロアに展示予定です。

さんこう
ぜひ参考にしてください。

めざせ読書王!

どくしょきろく きにゅう ていしゅつ
☆読書記録カードに記入して提出します。

もっと そっか よ ほん
☆Motto Sokkaで読んだ本について

どくしょきろく きにゅう
も、読書記録カードに記入できます。

さつじょう
1・2年生…50冊以上

いじょう
3~5年生…3000ページ以上

よ しょうじょう
を読むと、賞状がもらえます。

さくひん
◆作品のサイズ **B4サイズ**まで

◆ページ数 **50ページ以内**

◆パソコンの出力紙での応募も可

(文字サイズ11ポイント以上、1ページの文字数は1,000文字を目安として、読みやすさに配慮してください。)

さんこう いんようぶんけんいちらん
◆必ず参考・引用文献一覧をつける

しら とき りよう しりよう じょうほう
(調べた時に利用した資料の情報と
としょかんめい かなら かんまつ
図書館名のリストを必ず巻末につけます。)

なつやす ちゅう おやこ どくしょ とりくみ きょうりよく ねが
夏休み中も、「親子で読書」の取組にご協力をお願いします!

ひごろ ほんこう どくしょかつどう りかい きょうりよく
日頃より本校の読書活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

おやこ どくしょ はいふ しんがつき ていしゅつ ねが
「親子で読書カード」を配布しましたので、新学期に提出をお願いします。

① 調べる学習のポイント

※詳しくは公益財団法人図書館振興財団のホームページをご覧ください。

1. テーマを決める

自分が興味、関心をもったことをテーマにします。

◆具体的で読んでみたくなるタイトルや目次を工夫しましょう。

2. 資料・情報を集める

◆5冊以上の本を使って調べましょう。

◆図書館で調べる他に、実際に行く、観察、インタビューする、実験する、電話で問い合わせる、インターネットで調べるなど、いろいろな方法を組み合わせましょう。

3. 記録・整理する

調べたその場で、書名、著者名、出版社名、出版年、所蔵図書館などを記録しましょう。

後から記録するのは大変です。図・表・写真を使った場合も同様です。

◆学校から配布された「参考文献(参考資料)リスト」に記入し、レポートの最後につけます。

◆インターネットを参考にした場合は、サイト名(わかれば著者名)、アクセス日とアドレスを記録します。

4. 作品にまとめる

まとめ方は、レポート形式です。

調べたこと他に、必ず自分の考えを書き加えます。

◆「調べる学習コンクール」出品作品の大きさは、最大B4 サイズ、50 ページ以内です。

◆「わたしはこう考えた」「本で調べてみたら、こう書いてあった」というように、

ほかの人が読んで分かるように書きます。

◆文体は常体（～である。～だ。）か、敬体（～です。～でした。）にそろえます。

◆引用は「 」でくります。

◆図表・グラフ・写真等を引用する時は、引用した箇所のそばに出典を明記します。

提出時の注意!!

① **参考文献リストを忘れずに!**

著者名・書名・出版社名・出版年・使ったページ

参考文献とは、調べたときに使った本や新聞、インターネットなどのことです。

「図書館を使った調べる学習コンクール」では、必ず使用した本 **(5冊以上)**

について、学校から配布された「**参考文献リスト**」に記入し、作品の最後につ

けてください。※公益財団法人図書館振興財団のホームページからダウン

ロードもできます。

◆低学年の人は、お家の人に書いてもらってもよいです。

② **「出品チェック表」の提出が必要です!**

◆提出前に学校から配布された「**出品チェック表**」で確認の上、作品と一緒に

に提出してください。(作品に貼り付けないでください。)

②読書感想文のポイント

さくねん か
昨年と変わっています！

ねんせい どくしょかんそうぶん
1年生は、読書感想文ワークシートが、

ねんせい どくしょかんそうぶん どくしょかんそうぶん げんこうようし か
2年生は、読書感想文ワークシート と 読書感想文(原稿用紙に書く) が、

6ねんせい どくしょかんそうぶん げんこうようし か なつやすみ しゅくだい
3～6年生は、読書感想文(原稿用紙に書く) が、夏休みの宿題です。

どくしょかんそうぶん かんどう つた ぶん
読書感想文は感動を伝える文です。

かんそうぶん よ ともだち ほん よ おも かんそうぶん めぎ
感想文を読んだ友達が「その本、読んでみたい。」と思えるような感想文を目指しましょう。

ていがかねん ねんせい ばあい こども ようす おう いっしょ ほん よ とき ひょうじょう
低学年(1・2年生)の場合は、子供の様子に応じて、一緒に本を読んだ時のつぶやきや表情

とき こども かんが ほごしゃ ふせん のこ ほうほう
(その時に子供が考えていること)を、保護者が付箋などにメモで残しておく方法があります。

かんそうぶん か じゅんじょ ぶんしょう はしら た
メモをもとに、どんなことをテーマに感想文を書くのか、どんな順序で文章の柱を立てるのか

き か
決めて、書くとよいでしょう。

ちゅうがかねん ねんせい ばあい よ かんそう ぎもん ふせん か
中学年(3・4年生)の場合は、読みながら、感想や疑問などをカードや付箋に書くとよいでしょう。

あと くわ か ないよう き て よ かんそう ぎもん かいけつ
う。後で、詳しく書く内容を定める手がかりになります。読んだ感想から、疑問を解決するための

ほうほう かんが ぶん こうせい はじ なか お く た よ おじゅん
方法を考えるのもよいでしょう。文の構成を、始め・中・終わりで組み立て、読んでみて矛盾がな

たし
いか確かめます。

こうがかねん ねんせい ばあい わ ちよしゃ かんが じぶん かんが ふせん
高学年(5・6年生)の場合は、分かったことや著者の考えと、自分の考えを付箋やノートに

か かんそう せいり かんそうぶん ないよう じつぶつ み はくぶつかん しりょうかん
書き、感想を整理するとよいでしょう。感想文の内容によっては、実物を見る、博物館や資料館を

たず だくしょ せいかつ い じぶん せいちょう かん
訪ねる、インタビューするなどしましょう。読書が生活に生かされ、自分の成長が感じられるような

かんそうぶん
感想文になるとすてきです。

どくしょ とお かんが か たの おも じぶん あ ほん えら
読書を通して考えること、書くことが楽しいと思えるように自分に合った本を選びましょう。

ほん えら 1. 本を選ぶ

じぶん あったほん ほん せつめい ほん えら
自分に合った本、なぜこの本にしたかを説明できるような本を選びましょう。

よ 2. 読む

ぜんたい よ とお
1回目 全体を読み通す。

かんそうぶん か ふせん は よ
2回目 感想文に書きたいところに付箋を貼りながら読む。

ふせん りよう つく
3回目 付箋などを利用してメモやカードを作る。



こうせい 3. 構成する

はじめ なか お こうせい はしらた かんが
始め・中・終わりの構成(柱立て)を考える。

か 4. 書く

はじ か だ くふう
①始め…書き出しを工夫する

ほん よ おも かんそう たいげん きもん かいわぶん
この本を読もうと思ったきっかけ、感想につながる体験、なぜ?という疑問、会話文、

かんどう ばめん か だ よ ひと かんそうぶん ひ くふう
感動した場面などから書き出し、読む人が感想文に引きつけられる工夫をする。

なか じぶん いちばん い か
②中…自分の一番言いたいことを書く。

はしらた そ げんこうようし か よ なお かんが か
柱立てに沿って、どんどん原稿用紙に書いていく。読み直すうちに考えが変わっても

じぶん い いちばんあらわ しるし つ か
よい。自分の言いたいことが一番表されているところに◎などの印を付けておく。書き

お か まちが なお げんこうようし き は ぜんたい
終えたら、書き間違いを直したり原稿用紙を切り貼りしたりして、全体をまとめていく。

お むす くふう
③終わり…結びを工夫する。

ほん よ じぶん かんが か せいちょう かんが か
本を読んで自分の考えが変わったことや、成長できたことを考えて書く。

だいめい くふう よ かんそう ちゅうしん ことば ぶん だいめい
④題名を工夫する。「○○○を読んで」ではなく、感想の中心となる言葉や文を題名にして、

よ ひと きょうみかんしん たか
読む人の興味関心を高める。

せいしょ
⑤清書する。

せいしょうねんどくしょかんそうぶん

おうぼようこう

青少年読書感想文コンクールの応募要項より

(主催：公益社団全国学校図書館協議会・毎日新聞社)

たいしょうとしょ
対象図書

下の①か②のいずれか

① **自由図書**

じゅうとしょ

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

② **課題図書**

かだいとしょ

読書感想文全国コンクール主催者の指定した図書。

ようし じすう
用紙・字数

① 原稿用紙を使い、**たて書き**で、自分の字で書きます。

② **文字数**

もじすう

低学年の部(1・2年生) 本文 800字以内

中学年の部(3・4年生) 本文1200字以内

高学年の部(5・6年生) 本文1200字以内

● **題名、学校名、氏名などは字数に数えません。**

上に書かれた字数を超えないはんで、できるだけ最後の行まで書きましょう。

● **句読点(、や。)はそれぞれ1字に数えます。行を変えるための空白は字数として数えます。**

● **書き方に迷った時は、読書感想文や作文の書き方について書かれた本があります。**

参考にしてください。